

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー大宮桜木町4丁目教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63名	(回答者数)	41名
○従業者評価実施期間	2025年 7月 21日		～	2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所を楽しみにできる活動を日々用意し提供できている。	月毎にイベントを多数用意し利用者自身が選んで参加できる機会を設けている。 活動内容などは利用者の日々の様子に合わせて内容を変えて提供している。	利用者のニーズに合わせた活動を取り入れて充実した支援を提供していくためにアンケートを実施する。
2	個別支援計画書に沿った支援を提供することができている。	支援提供事前に、計画書を確認することで一貫した療育が提供できている。 計画作成時には職員全体で意見交換を活発に行っている。	引き続き、計画書の確認を徹底していき、職員間での情報共有も密に行っていく。
3	利用者の状況等、保護者と情報共有が取れている。	来所が難しい保護者に関して連絡帳やメール、電話にて支援時の利用者の状況をお伝えして共有している。 月に1度は必ず来所して頂き直接お伝えもできる環境も設定している。	イベントに保護者も参加して頂き実際に利用者の様子を見れる機会を設定する。 日々の支援やイベントの様子などHP上のブログを通して発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境の安全面が十分ではない	支援室に対しての利用人数は調整をしているが、それぞれの特性に応じた対応を取る場合に十分なスペースの確保が困難。また支援に必要な設備であったとしてもお子様によっては不要なこともあるため。	室内の破損は細かく確認 事故発生リスクがありそうなものは一時的に除外もしくは代替品で対応 教材の管理方法の徹底と周知を行う。
2	放課後児童クラブや児童館など外部との交流が少ない。	他事業所などの交流が少なくお子様同時の交流は出来ていない。 また、他事業所のイベントに参加したこともあるが利用者全員への提供は行えていない。	多くの利用者が、外部との繋がり持てるような交流の場を、検討し、外部にも働きかけていく。
3	SNS等を通しての情報の発信が少ない。	教室内での掲示は行っていますが、SNS等を使用した発信が滞っていることが要因だと思います。	教室内での掲示に加え、ブログ等SNSを使用した発信を定期的に行うことを検討していきます。